

知れば知るほど夢中になる
ワイン　ブックリスト



『ビジュアルでわかるワインの知識とテイスティング』マーニー・オールド／著，中濱 潤子／訳
誠文堂新光社

豊富なイラストと写真でワインの色や香りのしくみ、品種や産地、造り方、保存方法等を説明しています。随所にある「テイスティングレッスン」で実践することにより、味わいながらワインを学ぶことができます。とても読みやすいので初心者におすすめします。

『ワイン生活』田崎 真也／著　新潮社

著者が世界最優秀ソムリエコンクールで日本人として初優勝した１９９５年、日本は一大ワインブームとなりました。しかし、身近になった今でもまだまだ近寄り難く感じている方も多いのではないでしょうか。「ワインを飲むのに決まりごとなどなにもありません。」との考えの下、Ｑ＆Ａ形式でワインについての様々な質問に分かりやすい言葉で答えています。気楽に田崎流ワインの世界が楽しめます。

『文学とワイン』山内 宏泰／著，西川 美和／[ほか述]　青幻舎銀

銀座のワインバーで定期的に開かれている「文学ワイン会「本(ほん)の音夜話(ねやわ)」。角田光代や平野啓一郎など著名な作家たちがワインを飲みながら「ほろ酔いトーク」を展開します。作家と文学とワインの関係とは？三者は一体どのような世界を作り出すのでしょうか。

『ワイン語辞典』中濱 潤子／著，キムコ玉川／絵　誠文堂新光社

著者の興味のあるワイン用語が解説されています。栽培、醸造、テイスティングなどのテクニカル用語に加え、時事ネタやオススメのお店、人物まで幅広く取り上げられています。特に著者が好きな「ナチュラルワイン」に関しては詳しい説明があります。ユニークなイラストと解説文は著者のワインへの温かな愛情を感じ、読むのが楽しい一冊です。

『日本ワインを楽しむ旅』産業編集センター

「日本ワイン」は「日本国内で栽培されたブドウを１００％使用し、日本国内で醸造されたワイン」と平成２７年に国税庁が定義づけました。本書はそんな「日本ワイン」の生産地を４つ（山梨、長野、北海道、山形）を取り上げ、ワイナリーだけでなく周辺のグルメや観光地も紹介しています。また、上越市の日本ワインぶどうの父と言われる「川上善兵衛」の「岩の原葡萄園」も掲載されています。まずは身近なところから旅してみてはいかがでしょうか。

長岡市内の図書館にある本のリストです。ご希望の際には各図書館でお申し付けください。

長岡市立中央図書館作成
平成３０年１月

得する街のゼミナール 長岡まちゼミ